



サービス パラメータの設定

- [サービス パラメータの概要, 1 ページ](#)
- [サービス パラメータの設定タスク フロー, 2 ページ](#)

サービス パラメータの概要

各 Cisco Unified Communications Manager ノードには、そのノードで利用可能なサービスのリストがあります。アクティブなサービスは、パブリッシュノードまたはサブスクリバノードや、選択して設定する機能によって異なります。

機能サービスとネットワーク サービスがあります。これらの一部はクラスタ全体にわたり、クラスタ内の全ノードに適用されます。ほとんどのサービスにはパラメータがあります。導入に際して具体的に変更する必要がなければ、デフォルトのサービス パラメータの設定を保持することを推奨します。

機能サービスは、Cisco Unified Serviceability の [サービス アクティベーション (Service Activation)] ウィンドウで有効化できます。ただし、ネットワーク サービスはデフォルトで有効であり、基本機能に必要です。トラブルシューティングのためにネットワーク サービスを停止して開始する必要がある場合は、Cisco Unified Serviceability の [コントロールセンター - ネットワーク サービス (Control Center - Network Services)] ウィンドウを使用する必要があります。

[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] または Cisco Unified Serviceability を使用して、サービスのステータスを表示できます。サービス パラメータ設定とサービス パラメータの説明を表示するには、[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] を使用します。

サービスパラメータの設定タスクフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	サービスのアクティブ化と非アクティブ化、(2 ページ)	Cisco Unified Serviceability を使用するノードでサービスをアクティブ化および非アクティブ化できます。パブリッシャノードの推奨サービスリストについては、 パブリッシャノードの推奨サービスパラメータ 、(3 ページ) を参照してください。サブスクライバノードの推奨サービスリストについては、 サブスクライバノードの推奨サービスパラメータ 、(4 ページ) を参照してください。
ステップ 2	ノードのサービスパラメータの設定、(5 ページ)	クラスタ内の Cisco Unified Communication Manager パブリッシャノードおよびサブスクライバノードのサービスパラメータを設定します。
ステップ 3	サービスおよびサービスパラメータ設定の表示、(6 ページ)	Cisco Unified Communications Manager Administration および Cisco Unified Serviceability を使用するノードのサービスを表示できます。サービスパラメータ設定およびパラメータの説明を表示するには、Cisco Unified Communications Manager Administration を使用します。

サービスのアクティブ化と非アクティブ化

サービスをアクティブまたは非アクティブにするには、Cisco Unified Serviceability を使用する必要があります。

サービスのステータスを変更すると、Cisco Unified Communications Manager Administration と Cisco Unified Serviceability の両方で情報が更新されます。サービスを無効化すると、Cisco Unified Communications Manager は現在のサービスパラメータ値を保持します。サービスを再開すると、Cisco Unified Communications Manager はサービスパラメータ値を更新します。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Serviceability から、[ツール (Tools)] > [サービスのアクティブ化 (Service Activation)] を選択します。
- ステップ 2** ドロップダウンメニューから [サーバ (Server)] を選択して、[移動 (Go)] をクリックします。サービスと現在のステータスが表示されます。
- ステップ 3** サービスを有効にするには、有効にするサービスの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** サービスを無効にするには、無効にするサービスの隣にあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。
サービスのアクティブ化が完了するには数分かかることがあります。ステータスの変更を確認するには、ページを更新します。

次の作業

[ノードのサービスパラメータの設定, \(5 ページ\)](#)

パブリッシャノードの推奨サービスパラメータ

次の表は、専用 TFTP サーバ以外を使用する場合の Cisco Unified Communications Manager パブリッシャノードの推奨サービスを示します。

表 1: 非専用 TFTP サーバ展開で推奨されるパブリッシャノードサービス

タイプ (Type)	サービス名 (Service Name)
CM サービス	Cisco CallManager
	Cisco Unified Mobile Voice Access Service
	Cisco IP Voice Media Streaming App
	Cisco CTIManager
	Cisco Extended Functions
	シスコ クラスタ間検索サービス
	シスコ ロケーション帯域幅マネージャ
	Cisco TFTP
CTI サービス	Cisco IP Manager Assistant
	Cisco WebDialer Web Service

タイプ (Type)	サービス名 (Service Name)
CDR サービス	Cisco SOAP - CDRonDemand サービス
	Cisco CAR Web Service
データベースおよび管理者サービス	Cisco Bulk Provisioning サービス
	AXL Web Service
	Cisco URL Web サービス
パフォーマンスおよびモニタリング サービス	Cisco Serviceability Reporter
	Cisco Certificate Authority Proxy Function
ディレクトリ サービス	Cisco DirSync


ヒント

その他のサービスは、使用する計画がなければ安全に無効化できます。

- Cisco Messaging Interface
- Cisco DHCP Monitor サービス
- Cisco TAPS サービス
- Cisco Directory Number Alias Sync
- Cisco Directory Number Alias SyncCisco Dialed Number Analyzer Server
- Cisco Dialed Number Analyzer
- Self Provisioning IVR

サブスクリバノードの推奨サービス パラメータ

次の表は、専用 TFTP サーバ以外を使用する場合の Cisco Unified Communications Manager サブスクリバノードの推奨サービスを示します。


ヒント

その他のサービスは、使用する計画がなければ安全に無効化できます。

表 2: 非専用 TFTP サーバ展開で推奨されるサブスクリバノードサービス

タイプ (Type)	サービス名 (Service Name)
CM サービス	Cisco CallManager
	Cisco IP Voice Media Streaming App
	Cisco CTIManager
	Cisco エクステンション モビリティ
	Cisco Extended Functions
	Cisco TFTP

クラスタ内の各 IM and Presence Service ノードで次のサービスをアクティブにする必要があります。

- Cisco SIP Proxy
- Cisco Presence Engine
- Cisco XCP Connection Manager
- Cisco XCP Authentication Service

ノードのサービスパラメータの設定

[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] を使用して、ノード上のサービスパラメータを設定できます。クラスタ全体としてマークされているサービスパラメータは、クラスタ内の全ノードに影響を及ぼします。



注意

サービスパラメータの一部の変更は、システム障害の原因になることがあります。変更しようとしている機能を完全に理解している場合と、Cisco Technical Assistance Center (TAC) から変更の指定があった場合を除いて、サービスパラメータに変更を加えないようにしてください。

はじめる前に

- Cisco Unified Communications Manager のノードが設定されていることを確認します。
- サービスがアクティブであることを確認します。詳細は、[サービスのアクティブ化と非アクティブ化](#)、(2 ページ) を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で、[システム (System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)] を選択します。
- ステップ 2** [サーバ (Server)] ドロップダウン リストのノードを選択します。
- ステップ 3** [サービス (Service)] ドロップダウン リストのサービスを選択します。
 選択したノードに適用されるすべてのパラメータが表示されます。[クラスタ全体のパラメータ (一般) (Clusterwide Parameters (General))] セクションに表示されるパラメータは、クラスタ内の全ノードに適用されます。
- ヒント** [サービス パラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウの ? アイコンをクリックして、サービス パラメータのリストと説明を表示します。
- ステップ 4** サービス パラメータを変更し、[保存 (Save)] をクリックします。ウィンドウが更新され、サービス パラメータ値が更新されます。
 [デフォルトに設定 (Set to Default)] ボタンをクリックして、すべてのパラメータを、[パラメータ値 (Parameter Value)] フィールドの後に表示される提案値に更新できます。パラメータに提案値が設定されていない場合は、[デフォルトに設定 (Set to Default)] ボタンをクリックしてもサービス パラメータ値は変更されません。
-

次の作業

[サービスおよびサービス パラメータ設定の表示, \(6 ページ\)](#)

サービスおよびサービス パラメータ設定の表示

[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] および Cisco Unified Serviceability を使用して、クラスタ内のノードのサービスのステータスを表示できます。サービス パラメータ設定およびパラメータの説明を表示するには、[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] を使用します。

はじめる前に

[ノードのサービス パラメータの設定, \(5 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1** サービスを表示し、[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] を使用して、ノードのサービス パラメータ設定を表示するには、次の手順を実行します。
- [システム (System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)] の順に選択します。
 - [サービス パラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウで、[サーバー (Server)] ドロップダウン ボックスのノードを選択します。
 - [サービス (Service)] ドロップダウン ボックスのサービスを選択します。

選択したノードに適用されるすべてのパラメータが表示されます。[クラスタ全体のパラメータ (一般) (Clusterwide Parameters (General))] セクションに表示されるパラメータは、クラスタ内の全ノードに適用されます。

- d) [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウの (?) アイコンをクリックし、サービスパラメータと説明のリストを表示します。

ステップ 2 クラスタ内の全ノードに関する特定のサービスのサービスパラメータを表示するには、[サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウの [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン ボックスの [すべてのサーバに対するパラメータ (Parameters for All Servers)] を選択し、[Go] をクリックします。

[すべてのサーバに対するパラメータ (Parameters for All Servers)] ウィンドウが表示されます。表示されているサーバ名またはパラメータ値をクリックして、関連する [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウを開くことができます。

ステップ 3 クラスタ内の全ノードに関する特定のサービスの同期外れサービスパラメータを表示するには、[すべてのサーバに対するパラメータ (Parameters for All Servers)] ウィンドウの [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン ボックスの [すべてのサーバに対する同期外れパラメータ (Out of Sync Parameters for All Servers)] を選択し、[Go] をクリックします。

[すべてのサーバに対する同期外れパラメータ (Out of Sync Parameters for All Servers)] ウィンドウが表示されます。表示されているサーバ名またはパラメータ値をクリックして、関連する [サービスパラメータ設定 (Service Parameter Configuration)] ウィンドウを開くことができます。

